

メルカ移転の市立図書館と中央公民館

高校生のアイデアを

来春メルカに移転する市立図書館と市中央公民館の運営に高校生のアイデアを取り入れるワークショップ（市、市教委主催）が8日、玉野高で開かれた。生徒は両施設融合のコンセプトに合わせた活用策を次々に発表。指定管理者となる図書館流通センター（TRC、東京）などの共同企業体「TRC玉野」は、事業の参考に



メルカ移転後の市立図書館と市中央公民館の活用策を話し合う玉野高生

玉野高でワークショップで活用策次々に

募集に応じた1〜3年生46人が参加。市、市教委、TRC玉野の担当者から、移転の狙い、施設配置などの説明を受けた後、7班に分かれ、活用策や広報戦略を考えるグループワークに取り組んだ。生徒はフロアのレイアウトを図などを参考に、それぞれが思いをつたえた活用策やターゲットとする客層、集客方法について意見交換。集客が期待できる「移動水族館」▽大小の防

音室を使ったバンドの練習や演奏会など。図書館所蔵の絵本に載っている菓子を公民館の調理室で作る講座を提案した3年久内沙月さん(17)は「新しい図書館と公民館に何らかの形で関わりたい

うれしい」と話していた。子育て世代を対象としたワークショップも予定している。TRC玉野は「市民のさまざまな意見や提案を取り入れ、老若男女が楽しめる施設にしたい」とし日には産業振興ビルでている。(正本和臣)